

牧之原市、吉田町で入隊者を激励

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は2月16日（火）、牧之原市と吉田町で行われた入隊激励会に参加した。

入隊激励会とは、各市町が主催し、自衛隊への入隊予定者に対し激励を行うもの。牧之原市の入隊予定者は2人、吉田町の入隊予定者は3人で、このほか両市町の長などが参列した。

激励会では、両市町の長が入隊予定者を熱く激励するとともに、静岡地本部長の杉谷1等空佐が祝辞の中で「貪欲に学ぶ姿勢」「同期との絆を大切に」とアドバイスを送った。

周囲の期待と激励を受け、入隊予定者はそれぞれ激励会への感謝の気持ちと入隊後の決意を、やや緊張した面持ちではあったが力強く表明した。

静岡地本は、コロナ禍においても感染症対策を行い入隊激励会を開催し、感謝とともに、さらなる関係強化に努め、入隊予定者のサポートも確実に行い立派な自衛官になれるよう後押ししていく。



浜松基地の隊員がQCサークル活動でラジオ出演

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・杉谷康征1等空佐）は2月18日（木）、本部庁舎（静岡市）においてラジオ収録を行い、航空自衛隊浜松基地（浜松市）の警戒航空団第2整備群装備隊のQCサークルチーム「Right Staff」が出演した。

収録したのは、エフエムしみずのラジオ番組「自衛TIMES★静岡」。感染防止策として、収録はラジオ局のスタジオではなく、静岡地本の会議室でパーティション越しに行われた。

QC（クオリティ・コントロール）とは「品質管理」をいい、品質向上に向けたあくなき改善活動のことで、航空自衛隊では広い解釈で「業務改善」もこれに含まれる。

同チームでは現在「人材募集」をテーマに活動しており、その一環としてラジオを通じてこの仕事の魅力を伝えようと、メンバーの八波丈志2等空曹、菅野弘之3等空曹、生田卓弥空士長、花尻慎之介空士長の4人が出演した。

収録は2人ずつ行われ、自衛隊の固いイメージを覆すような隊員同士の掛け合いをほさみながら、自衛隊には多くの職種があり自分に合う仕事があること、仕事が楽しいとプライベートもより充実すること、一般企業から転職して自衛官になった実体験などを発信し、県民に理解を深めてもらえるよう広報活動に努めている。

静岡地本は、今後もさまざまなメディアを通じて自衛隊の魅力

